

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先0282-22-7079(増田)

Eメール ohirasamroku9jo@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索



174号

2021年12月21日発行

再確認したい！ 武力で平和は守れないと！

改憲勢力が3分の2以上になった衆議院選挙の結果を受けて、九条の会が下記の声明を発表しました。今、私たちの生活はコロナに翻弄されていて、改憲の動きに鋭く反応する状態ではないといってもいいでしょう。しかし、手をこまねいていると、改憲の動きが加速してしまいそうです。コロナに注意しながらも、この声明にこたえ、改憲の動きにも敏速に対応していきましょう。歴史をみても、武力では平和は守れません。9条こそ平和の砦です。9条の大切さを一人でも多くの人に伝え、全力で9条を守っていきましょう。



声明：総選挙後の改憲問題の新たな局面を迎えて 2021.11.12 九条の会

10月31日に衆議院議員選挙が行われ、自民党は議席を減らしたものの単独過半数を維持し自公政権の存続が決まりました。維新の会の大幅議席増により自公と維新を合わせた改憲勢力は334議席となり、衆議院の3分の2を超える議席を獲得した結果、改憲問題は、新たな局面を迎えました。

岸田文雄首相は、自民党総裁選の最中から「任期中の改憲実行」、「敵基地攻撃能力」保有の検討を繰り返し表明しました。それを受けて総選挙に向けての自民党公約も、「敵基地攻撃能力」保有、防衛力の大幅強化と並んで、「早期の憲法改正」の実現を明記していましたが、総選挙の結果を踏まえて、岸田政権は、安倍政権以来の改憲策動の強化に踏み切る構えです。

岸田政権がまず手をつけようとしているのは、安倍・菅政権が推進した9条破壊の加速化です。対中国の軍事同盟強化を目指した「国家安全保障戦略」と「防衛計画の大綱」の改定を来年末までに強行し、中国を念頭においた「敵基地攻撃能力」の保有、日米共同演習の強化、そして辺野古基地建設強行などを推し進めようとしています。

同時に、岸田自民党は、憲法9条明文の改憲にも踏み込むべく、臨時国会における憲法審査会での改憲案討議入りを狙っています。維新の会松井一郎代表の「来年参院選と同日に改憲国民投票を」という発言や国民民主党との憲法審査会毎週開催合意は、こうした自民党の明文改憲への策動を応援するものです。

しかし、日米軍事同盟強化と改憲という途は、米中の軍事対決・挑発を激化させ、日本と東北アジアの平和の実現に寄与するどころか、それを遠ざけるものです。明文改憲、9条破壊の策動を阻止しなければなりません。

九条の会をはじめとした市民の草の根からの運動は、自民党などによる改憲の企図を阻み続けてきました。とりわけ、安倍政権の下、衆参両院で改憲勢力が3分の2を占めて以降も、市民と野党の共闘の頑張り、幾次にもわたる全国統一署名運動、それに鼓舞された立憲野党の奮闘により憲法審査会での改憲案審議を行わず、19年参院選では改憲勢力3分の2を打ち破って安倍改憲を挫折に追い込みました。来年の参院選に向けた新たな改憲の動きに待ったをかけるのも、この市民と野党の共闘の力以外にはありません。

この力に確信を持って、市民の皆さんが、改憲と9条破壊の阻止のため、決意を新たに立ち上がられることを訴えます。

◆スタンディング 1月9日(日)市役所前 1月19日(水)とちぎコープ前 午後3時～

◆スタッフ会議 1月13日(木)・1月28日(金)・2月10日(木)

市民交流センター(楽習館) 2階会議室 午後1時半～

軍隊のない国



世界中に軍隊の無い国があるのです。その国は以下の通りです。

()内は軍隊が無くなった年、又は独立した年、(独立した時から軍隊が無かった)ということですね。

ヨーロッパ

アンドラ公国 (1278 年) サンマリノ共和国 (16世紀頃) モナコ公国 (1740 年頃)

リヒテンシュタイン公国(1867 年) バチカン市国 (1929 年) アイスランド共和国 (1918 年)

ミクロネシア

キリバス共和国(1979 年) ナウル共和国(1968 年) マーシャル諸島共和国(1986 年) パラオ共和国 (1994 年) ミクロネシア連邦 (1986 年)

インド洋

モーリシャス共和国 (1968 年)

ポリネシア

クック諸島 (1965 年) ニウエ(1974 年) サモア独立国(1962 年) ツバル(1978 年)

メラネシア

ソロモン諸島(1978 年) バヌアツ共和国 (1980 年)

中米・カリブ海

コスタリカ共和国(1948 年) セントルシア(1978 年) セントビンセント及びグレナディーン諸島(1979 年) ドミニカ国(1981 年) グレナダ(1983 年) パナマ共和国 (1994 年)

カレンダーの11月の下の方に「軍隊のない国家」と標題があり、以上の国の名前が書いてあったのです。コスタリカには軍隊がないということは、知識としてはありましたが、こんなにたくさんの国(24か国)に軍隊がないとは！それもみんな小さな国のようです。初めて知った国の名前もあります。憲法九条2項で陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない、と定めている日本に自衛隊という名前の軍隊がある、そしてこれを改悪して敵基地攻撃能力を持つとうとする日本の、自民・公明・維新の政権に強い怒りを感じるとともに、13世紀から現在まで軍隊を持たないで積み重ねた国々の、自国をまもるための考え方、20世紀の後半に軍隊を持たない、と決めた歴史などを、是非学習したい、と思います。

(増田 記)

「球状の九条の碑」詳報

先月のたよりでお知らせしたユニークな九条の碑建立は、千住九条の会が開いたジャーナリスト伊藤千尋さんの講演からはじまる。

伊藤さんは朝日新聞記者だったとき、アフリカ沖の島に日本国憲法九条の碑があると聞き、カナリア諸島グラン・カナリア島に飛んだ。碑のあるという広場につくと、「入口に『ヒロシマ・ナガサキ広場』と書いてある。驚いた。アフリカ沖の島に広島と長崎の名を付けた広場がある。タイルを敷き詰めた畳一枚ほどの大きさの板が、壁にかけてあった。白いタイルに鮮やかな青い文字が焼き付けてある。スペイン語で書いた日本国憲法第九条だ。本当にあった！」(伊藤千尋)。当時の市長が広場を市民が平和を考える場所にしたいと、戦争でいちばん悲惨な目にあった広島・長崎を広場の名に、市民が平和を考えるきっかけになるものとして日本の憲法第九条の碑を思いつき、市議会に提案すると満場一致で決まり、記念碑除幕式では、

参加した市長と全議員、市民でべトーベン第九「歓喜の歌」が歌われた。

東京には九条の碑がない。講演を聞き、区民のみなさんに呼びかけ「建立する会」が発足、足立区に住む建築家よしだきんじさんと娘のみきさんがデザインを考案した。

総選挙で自民党は議席を減らし、たものの改憲勢力が三分の二を超え、岸田首相は自民党改憲推進本部を実現本部と改称して、アベ・スガ政権ができなかった改憲をキシダ政権が実現すると前のめり、本気のような。九条危うし！私たち市民が知恵を出し合い、九条を窮状から救い出そうではありませんか。

(郡司俊雄 記)



グラン・カナリア島のヒロシマ・ナガサキ広場にある九条の碑